

# 竹の子

第87号 平成24年3月24日(水) 発行

発行責任者 坂井 正志

編集 明星会広報委員会

# だより

発行 社会福祉法人 明星会

〒250-0052 神奈川県小田原市府川 752-5

TEL 0465-32-7740 E-mail info@takenokogakuen.jp

FAX 0465-32-7741 HP <http://www.kanagawa-id.org/takenoko/>

※ 利用者の個人名・写真の掲載についてはご本人とご家族の了承を得ておこなっています。



今月の絵 : K・Okuda

# 新年度に向けて

竹の子学園施設長

坂井 正志



いよいよ平成二十四年度のスタートです。明星会の方向性につきましては、前号の竹の子だよりで述べましたが、新たな取り組みを始めることになりましたので、その内容も含めて報告します。

竹の子学園では、地域移行に本格的に取り組んでいきます。そのために、ご家族のご理解を得るために、勉強会、説明会、竹の子ホーム見学会等を、積極的に行っていきます。

竹の子ケアセンターは、利用率100%を目指します。昨年度から、特殊浴槽の廃止、主たる利用者の設定等、ご迷惑をおかけした点もありましたが、竹の子ケアセンターの特色を生かした支援ができるよう、定員増を見据えて事業展開をおこなう予定です。

パン工房ハッピーは、利用希望者が多く、定員増が課題になっていましたが、作業スペースの確保が難しく、取り組みができませんでした。たまたま、隣のフレッシュハウスという住宅メーカーが移転し、建物が空いたので、パン工房ハッピーで利用することにしました。具体的には、

定員を十名増やします。問題として、職員の確保、改装、食事の提供体制、作業内容等がありますが、竹の子だよりが発行される頃には、見通しが立っていると思います。独自の商品開発にも取り組んでいきますので、いい案がありましたら、アドバイスをお願いします。

竹の子ホームは、四月一日に六部に新ホームがオープンします。メルシーボクという名称です。世話人さんも決定し、五名の男性が新生活をスタートさせます。相談支援センター エールでは、すべての利用者者にサービスマニュアルを立てなければいけなくなることを受けて、相談業務を強化していきます。明星会では、相談支援の研修を受けた職員が多数いますので、適切な職員配置を行っていきます。

自立支援法を廃止すると決めたのに、名称を変えて残す動きになっていきます。現場が混乱するという理由ですが、それなりに方向性は少しずつ見えてきました。制度がどう変わろうとも、利用者の幸せのために私たちがあることには変わりはありません。今後も、利用者のニーズに沿った事業展開をしていきます。



震災による甚大な被害を受けた東北地方より離れたここ神奈川でも、三月十一日という日は、決して忘れることのできない日となりました。この日より一年が経とうとする二月二十五日、竹の子学園では小田原市消防署・北分署より四名の隊員に來園いただき、職員・家族会合同による防災研修を開催致しました。

当日は、あいにくの天候でしたが、多くのご家族に参加をいただき、北分署佐々木氏による講話より研修が始まりました。ビデオ映像などを交え、過去の実際に起こった地震のお話をいただき、改めて地震の脅威を覚えました。その対策については、①パニックを起こさないこと②ライフライン寸断の想定をすること③ビデオ等を見てシミュレーションをすること④連絡手段を考慮することなどがあげられました。そこで共通してあげられることは「備える」ことでした。私たちはいつの間にか自然と「自分は大丈夫だ」と思ってしまう。

## 職員 家族会 合同研修会



今回の大震災において命を落とされた方たちの中にも、そのように日頃思い、生活をしていた方も多かったです。有難い、運命を分けるのは不断の備えであることを十分に認識しなければならぬと教わりました。

講話に続いては、北分署四名の隊員によりAED・心肺蘇生法の実践講義を受けました。講話を受けた後ということもあり、職員・家族ともに積極的に参加されたり、多くの質問をされ、ひとつの良い「備え」をする事ができました。

研修終了後は、講義と同時に進行で職員・家族会で用意をさせていただいた、非常食の缶詰のカレーライスやフリーズドライのポテトサラダを利用者も交えて食べ、昼食としました。

今回の防災研修を通じ、明星会職員一同、利用者の命を預かっているという事を十分に肝に銘じ、ご家族を始めとする協力機関と連携をし、今後様々な「備え」に勤しんでいきたいと心を新たに致しました。(美濃島)



# 理事会報告

【平成二十三年年度 第三回理事会】  
 が、平成二十四年一月二十四日、竹の子学園ヴィーホール二階にて開催されました。

## 議案

平成二十三年度神奈川県指導監査指摘事項及び改善状況報告について  
 平成二十三年十月二十日、神奈川県による指導監査及び実地指導が行われ、平成二十三年十二月二日付文書にて指摘事項がありました。  
 指摘された事項につきましては、順次、訂正・改善しております。

## その他

新事業 進行状況について  
 ①パン工房ハッピー近隣の空き店舗と賃貸契約をしました。パン工房への食事提供の為に「厨房・食堂設備」を併設した作業スペースとして利用する為、現在進行中です。  
 ②平成二十四年四月、大雄山線穴部駅近くに新ホーム（定員男性五名）を開設します。

昨年十一月二十三日（水）

第十六回竹の子祭を開催いたしました。大勢の方に来園を頂き、大変嬉しく思うとともに感謝いたしております。今回は新作業棟にバザー会場を移し、もとの会場にパン工房ハッピーを配置しました。レイアウトを変えたことで来園された皆様の混乱を招くことがありませんでしたが、大きな混乱にはならず大盛況でした。



## 第16回 竹の子祭報告



あつてこそだと大変感謝しております。

次回も皆様から頂いた貴重なご意見を参考にさせて頂き、より皆様に楽しんで頂き、親しみの持てる竹の子祭にしたい。また次回もぜひご来園して

頂けるよう心からお待ち致しております。

## 竹の子祭実行委員長 大橋辰紀

### 第16回竹の子祭 売上報告 (円)

|        |         |
|--------|---------|
| 施設会計収入 | 330,000 |
| 作業班収入  | 103,050 |
| パン工房収入 | 260,440 |
| 家族会収入  | 199,300 |
| 合計     | 892,790 |

なお、売り上げの一部は、東日本大震災義援金として寄付させて頂きました。

明星会では、竹の子人権まもろう宣言を掲げています。

この宣言を法人職員がそれぞれ日常の支援に取り入れ、利用者の皆さんがよりよい生活ができるように努めています。

## 竹の子人権 まもろう宣言

### 基本理念

常に利用者の目線に立ち、利用者が安心して安全に過ごせる事業を行ないます

理事長 安藤進

社会福祉法人明星会は「神奈川県知的障害施設協会の『あおぞらプラン』を遵守し、利用者の人権を守ります」と基本方針に掲げています。さらに具体的なスローガンを提示し法人職員の意識向上を図り、あおぞらプランとあわせて『竹の子人権まもろう宣言』を遵守していきます。

- ・私達はくん・ちゃん・あだ名呼びはしません
- ・くん・ちゃん・あだ名呼びはせず、利用者年齢に応じた呼称を用います。
- ・あわせて、年齢に応じた言葉遣いをしていきます。

- ・私達は笑顔であいさつします
- ・利用者が気持ちよく生活できるように、笑顔で挨拶をします。
- ・私達は理由なく「ちょっと待って」とは言いません
- ・待ってもらう場合は理由を伝えます
- ・利用者の訴えに耳を傾け、理由がないのに後回しにしません。
- ・優先しなければいけない事がある場合はその理由を伝え、後で必ず伺います。
- ・私達は必要などころ以外は施設しません
- ・本当に必要ですか？ その施設、施設のある方を常に検討し、それに向けて支援方法などを話し合っていきます。
- ・私達は身だしなみに気をつけます
- ・「身だしなみ」は相手のために自分の身を整えることです
- ・福祉サービスをこなす者として、相手に不快な印象を与えないように身だしなみに注意を払います。
- ・私達は高圧的・乱暴な言動はしません
- ・感情的になっていませんか？その声掛け・その態度
- ・利用者に対し、自分の感情をぶつける様な支援はしません。
- ・感情的ではなく常に冷静に考えて、適切な支援をしていきます。

平成二十三年十一月一日現在

竹の子  
ケアセンター

# ケーキ作り

1月24日誕生会を兼ねて、ケアセンターの皆さんでケーキ作りを行ないました。



スポンジや果物を包丁で一つずつ丁寧に切り、おもいおもいにクリームやチョコ、果物を盛り付け華やかなケーキがテーブルを彩りました。普段包丁を持たない方も、職員と一緒に作業を行ない真剣な面持ちでした。

その後、誕生者をお祝いしてから皆さんでケーキを食べました。自分たちで作ったケーキはいつものケーキとはまた違った美味しさで皆さんケーキを頬

張っていました。とても楽しい時間を送る事が出来ました。(鈴木康浩)



# 節分

竹の子  
学園



2月3日節分の日、ヴィーホールにて節分レクを行いました。

今年は「鬼は外 福は内」にかけて桃太郎をテーマに寸劇を行い、桃太郎と一緒に鬼を退治しました。リアリティーある鬼の登場に驚かれた方もいましたが、皆さん立ち上がると桃太郎と一緒に夢中でボールをぶつけていました。皆さんの勢いある攻撃に鬼もびっくりしたようで背を向けて慌てて逃げ出していました。退治した後は桃太郎からお礼のキビ団子ならぬ饅頭をもらい、大満足の様子でした。また、体調不良の為参加できなかった方もいましたがそんな方のもとにも鬼が訪れると、ボールを投げて寮から鬼を追い出し、その後お団子を食べ福を呼び、楽しまれたようでした。(牧田)



# 冬の思い出



パン工房  
ハッピー

# 日帰り旅行

1月21日に行きは踊り子号、帰りは新幹線に乗って品川の水族館に行ってきました。



メンバー会議で話し合った公共ルールを再確認しながら、いざ踊り子号へ。品川へ到着し水族館でのメインイベントは、バックヤードの見学です。普段見られない場所や貴重な体験に皆さん喜ばれていました。

その後のイルカショーやアシカショーでは大興奮！イルカの大技には拍手や歓声が上がっていました。



た。帰りは少し緊張した面持ちで新幹線に乗り、また楽しい思い出ができました。

(石井めぐみ)

# グループホーム交流会

竹の子  
ホーム

2月4、5日で毎年恒例、リゾートピア熱海で開催される県西地区グループホーム交流会に行ってきました。竹の子ホームからは、15名の利用者が参加してきました。メインは総勢110名を超える大宴会。各々のホームを紹介しあったり、カラオケで盛り上がりだったり、昔の仲間とお酒を交わしたり・・・。一歩一歩、確実に成長していく姿に、とっても感心させられました。その他、温泉に浸かったり、美味しい料理を食べたり、至福のひと時を過ごしてきました。また、来年が楽しみです。(清田)



### 地域との つながりを深めたい



法人で五番目のグループホーム&ケアホーム「ボヌール」が南足柄市狩野にオープンして一年三ヶ月が経ちました。狩野自治会会員として、美化清掃から始まり、避難訓練（雨で中止）狩野公民館祭りや筏場公民館ふれあいバザーでは、パン工房ハッピーのパン等をホーム入居者で販売させていただくなど、地域活動に積極的に参加することが出来ました。これも狩野自治会の皆さまの温かなご支援の賜物だと思っております。

交流を通して、地域の皆さまに障害の理解を深めていただくことも必要ですが、入居者ひとりひとりが自治会活動を通して、地域住民としての意識を高めていくことがもっと大切だと思っております。引き続き地域活動に積極的に参加していきたいと思えます。

また、近隣にお住まいの水本様より絵画を二枚頂きました。ありがとうございました。（露木）



### 湘南国際マラソン優勝 竹の子ホーム 矢島一也さん



去年の十一月三日に僕は二回目の出場となる湘南国際マラソンに出場しました。一回目のときはぎりぎり三位でした。今回は二回目という事もあり、少し自信もついたので初めて優勝する事が出来ました。優勝した時は、凄く嬉

### 竹の子ケアセンター 懇談会

二月十一日寒い中、懇談会に多数の方々に参加していただきました。交流が持てるよう全員の方に自己紹介をして頂いた後、管理者の坂井より、ケアセンターの経緯や次年度の説明と皆様が関心ある自立支援法の廃止に伴う今後の方向性や障害者総合福祉法についての説明がありました。随時、法律に向けての状況を踏まえて制度を受け止め、利用者様には、ご不自由をおかけしないよう取り組んでいくとの心強い話がありました。（細野）



しくてお世話になった人達に電話をして喜びを分かち合いました。ですが、終わってから残念な事もありました。この日に僕のお父さんが天国に行ってしまった。この時は一瞬にして言葉を失ってしまいました。でも、この事は暗く考えるのではなく明るく考えました。なぜなら、お父さんが最後にくれたプレゼントだと思っただからです。なので、すぐ思い出の詰まったマラソン大会となりました。

### あおぞらパーティー

二月八日に藤沢市民会館で行なわれた、「あおぞらパーティー意見発表会」に参加してきました。竹の子学園からは四名の方が参加され、グループごとに分かれて「恋愛」「仕事」について話し合ってきました。皆さんが普段考えている事や悩んでいる事などを発表し、他施設の方からも意見を頂いたりしてきました。初めは緊張されていた方も、徐々にニコニコと笑顔が見られ、楽しんでる様子でした。（浦本）



### 新職員紹介



一、二寮生活支援員  
鈴木秀和  
趣味：ソフトバレー  
性格：温厚で真面目です。  
一言：楽しく元気に働いていきたいと思えます。

### 退職者紹介



生活支援員 近藤直子  
この度、一身上の都合により竹の子学園を退職することとなりました。振り返れば長いようで短かった七年間、多くの事を経験し学び、成長して来られたのも、温かい皆様（利用者・ご家族・職員）の支えがあったからこそだと思います。本当に感謝の気持ちで一杯です。竹の子学園で学んだこと、皆さんとの思い出を忘れずに、これからも頑張っけていきます。

本当にありがとうございました。  
その他、生活支援員の 一ツ田 淳さん・石綿 敏さんがご本人の都合により退職されました。お疲れ様でした。

### お世話になっている 企業のご紹介!

有限会社大山水産様との出会いは、二年ほど前。旅館へパンを卸してみませんかとお誘い頂いた時から大山水産様には大変お世話になっていきます。

本業は鮮魚の卸業者さんなのに、何でパンを納品しているのかというと、瀬沼社長がハッピーのパンを気に入って下さったからです。

更に本来なら私達が納品すべき所を瀬沼社長の心意気でハッピーまで取りに来てくれて、魚と一緒に運んで頂いています。(石井めぐみ)



#### 瀬沼社長にインタビュー!!

有限会社大山水産  
瀬沼 龍太社長

Q. どうしてハッピーに声を掛けて下さったのですか?

A. 何件か候補がありましたが一歩ハッピーが良かったからです

Q. ハッピーの印象は?

A. 利用者さんがとても前向きで一生懸命頑張っていると思いました

今回紹介させて頂いた、大山水産様が二月八日「食彩工房箱根」というお店をオープンされました!

そこにハッピーのラスクやクッキーなどの焼き菓子と竹の子学園の陶芸なども並べていただいております。

箱根に行つた際は是非お立ち寄り下さい!

住所：足柄下郡箱根町箱根571-37  
\*国道一号線沿い、芦ノ湖畔・箱根神社の大鳥居のすぐ近くです



食彩工房の  
ブログもあります!!

ありがとう  
善意の気持ち



#### ▼寄付

大野 正儀様 小野寺 文壽様  
関 操様 (株)リンクライン様

田辺商事様 桜井地区民生員様  
箱根嶺南荘様 (有)小田原消毒様

虹の丘足柄様 北小田原病院様  
さがみ信用金庫沼田支店様

株新環境設計様 渡辺商事様  
県立諏訪の原公園管理事務所様

わかば調剤薬局様 (株)メガ様  
(有)豊建築設計事務所様  
株 鈿持技建様 相日防災様

#### 春の季節

### 竹の子日和



絵：H・Misumi  
作：K・Moriya

① おおや化見の季節だよ

② みんなでお花見に行こう。

③ サクラがきれいだわ。

④ だもや、はーい私は花よりダンゾ

#### 編集後記

(有)あしがら美装様 鈴廣様  
セブナイレブン塚原店様  
神奈川日産自動車様 (株)中商様  
習和産業様 (二月十五日現在)

寒暖の激しかった冬も終わり、あつという間に桜の季節がやってきました。花粉の季節でもあります。皆さんの笑顔と笑顔が溢れています。皆さんの笑顔と一緒に新年度を気持ち良くスタートできたらと思います。一年間「竹の子だより」のご愛読ありがとうございます。(今野)